

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

REPORT 174

自然と共存!

ちごりんの里山



里山が一面ピンク色に染まる光景



小牧市の花であるツツジ。その一種であるミツバツツジが自生する場所をご存知でしょうか。「ちごりんの里山」と名付けられた東部地域の森には、ツツジが自生、草木だけでなく、湧水があり、虫も鳥も、動物もいる昔ながらの場所なのです。ちごりんの里山を2007年から整備し続ける団体「ちごりんの里山」の代表・橋本さんに話を聞きました。



熱心に説明する橋本さん。現在はSDGs15を目標に活動しています。

「自然を愛し、自然と共生できる」。それをライフワークとして活動しているちごりんの里山の代表、橋本さん。活動の発端はミツバツツジ。橋本さんが麓の古民家を利用した自然体験施設「ちごりの家」で活動していた時、山を散策していた、春に自生したミツバツツジがきれいに咲き誇るのを発見し、自生する場所がどれくらいあるのか、この場所を守るべきではないかと感じたそうです。その場所は、県有林であるため、県有林事務所まで足を運び、子どもたちの自然体験の場として、そしてツツジの保護を目的とした借地の申請をしました。当初断られたものの4度目にして受理されました。ボランティアとしては小牧で初めて県有林に入

りました。

以来、地元学区の光ヶ丘小学校の3、6年生は、年6回の活動で、散策、植樹、ネイチャーゲームなどを楽しんでいます。

また、市民向けにもツツジの咲く時期に2週間ほどの期間を設けて観察会を催しています。

通常は入れない県有林でピンクのカーペットのように咲き誇る自生した1200株以上のツツジを観察することができます。

守り育てる

ちごりんの里山では春はツツジ、秋はもみじや実のなる木であふれることを願い保護活動を続けています。

「自然を壊すことは簡単なのに、作るのは50年以上かかる。でも、保護することはできる」と橋本さん。



珍しい花たちも咲いています。

春は青々と勢いを与え、秋は枯れてもの寂しい情緒を与えてくれる山。

利潤ではなく、山を、自然を好きでいることでできるのが守り育てる活動なのです。

コンクリートのダムではなく、緑のダムを作る。実のなる木を育て虫も鳥も動物も暮らせる里山を作ることは、人間と動物の生活エリアを分けて共存することにもつながります。

一緒に里山を守り育てようとする仲間が随時募集中です!

編集後記



ヤンメイ

小雨のふる中入った山で聞いた鶯の声。キツツキがあけた穴をみたり、種から育った赤ちゃんのもみじにも会えました。猪の足跡、人間ではない生き物が生活する場を改めて感じられる貴重な機会でした。

ちごりんの里山

今回の取材先

活動場所：大山ワナギ谷 県有林内
問合せ：ワケティ(代表)
(0593)48-7000 (電話番号)

『ミニ』と共に過ごす 豊かな生活を楽しんで！

イギリスで60数年前に生まれた「ミニ」。当時の車は20年余前に生産中止になりました。小牧にあるキングスロードは、そんなミニだけを専門に販売、修理、メンテナンスしています。そして、ミニと過ごす豊かな生活を提供しています。社長の後藤一義さんとマネージャーの浅野由美さんに話をきいてきました。



とにかくすごい！ 自分だけの車が出来上がってる！



一番左がマネージャーの浅野さん。左から3番目が社長の後藤さん。

1994年、ミニを全身全霊で愛する後藤さんが、ミニ専門の店「キングスロード」を立ち上げました。以来、27年が経過した今でも取り扱い車種はミニだけです。

この車の奥深さがたまらない。運転席に座ればワクワクするし、心を豊かにしてくれる空間が魅力ですと後藤さんも浅野さんも熱く語ります。



オリジナルで作った「モーニングドライブセット」。こだわりアイテムがいっぱい。

「単純に車を販売というより、ボディの色や室内のアクセサリ、エンジン回りなどすべてお客さんの思い描くものを作り上げるのが仕事です」と話す後藤さんは、好きが高じただけあり、ミニのことを知り尽くしたエンジニアというよりミニの究極の達人です。

キングスロード だからできること



整備工場内。すべてミニです。

店の入口にはテーブルや椅子が置かれ、誰でも会話を楽しめるスペースがあります。週末にはミニを大好きな人たちが集まります。

そして、店頭には、イギリスのコーヒーに魅了され、独自にブレンドしたという美味しい挽きたて珈琲（100円）が飲めるスタンドコーヒーがあり、近所の人たちも飲みにくるのだそうです。

「皆、おいでー」の心

「今は壊れたら捨てるという文化になりつつありますが、イギリスでは、物を大切にしている文化が今でも息づいています。いつまでも自分の大切な物を持ち続けることができる幸せな生活を日本でもできたら、心が豊かになりますよね」と、浅野さん。

ミニを愛する人たちを集めてイベントを企画したり、マルシエを開いたりします。乗っている人だけではなく、まわりの人全てが楽しめるようにとの思いから。



店内に並ぶパーツの数々。アウトドアグッズもたくさんあります。

編集後記



みくる

スタッフの皆さんの明るい笑顔とミニ。車ってこんなに人を笑顔にしてくれるんだあと思いました。珈琲はめちゃ旨。オススメします。



今回の取材先 キングスロード

住所…入鹿出新田522-1
電話…71-59005
営業時間…午前10時～午後6時30分
休業日…水曜日 第1・3・5日曜日
HP…<http://www.kingsroad32.co.jp>